

設 立 趣 旨 書

もともと人間の技術は環境に適応するためのものであった。さまざまな技術が開発されたおかげで、今めまぐるしく変わる環境に対応しなくてもすむようになってきている。

しかし、自然の環境を克服したはずの人間は、人間自身が作り出した人為的な環境の変化に悩まされるようになった。

丹沢の山も、山麓もその例外ではない。光、風、水、土が微妙に変わり弱い動物や植物が消え始めた。ブナ枯れ、山の裸地化、絶滅の道を辿るツキノワグマがその典型である。風土が、山麓の産業、暮らしを生み、文化を育み、伝統を育ててきた。暮らしが変わり、身近な森林や農地などが減少し、生活に「うるおい」「安らぎ」を与えてくれていた自然が失われるとともに風土に裏付けられた伝統が消えた。さらに、安全性が確認されていない化学物資の使用や管理の不備による環境汚染の発生が危惧されるようになった。

このような背景を鑑みると、豊富な知識・経験、高度な技術を有する者が互いに協力して環境の保全、社会教育の推進、まちづくりの推進、文化・芸術の振興、子供たちの健全育成など幅広い分野での各種支援活動が、健全な社会資産の形成に欠くことができない。

そのため、「特定非営利活動法人自然塾丹沢ドン会」を設立し、意欲ある者を募り、非営利団体として社会に貢献したいと考える。

次代の人材を育てる教育の推進、地球環境の保全をも視野に入れた環境保全、文化・芸術の振興などに自ら行動し、また支援、助言することで、健全なまちづくり等々広く公益に寄与できると自負するものである。

平成13年3月1日

特定非営利活動法人自然塾丹沢ドン会

設立代表者 岡 進